

(対象期間：2021/6/21～2021/6/25)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2021年6月25日)

(ポイント)



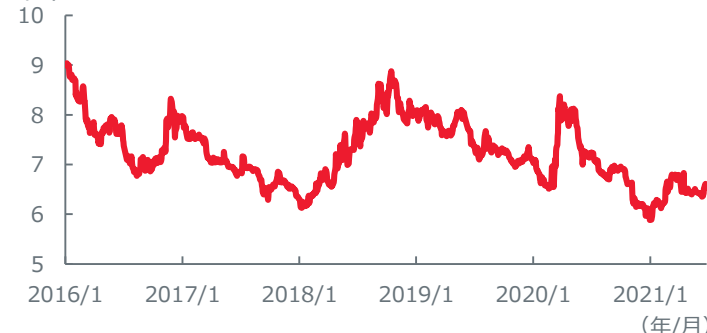
【株式市場】

週初は新型コロナウイルスの感染再拡大と潜在的な金利上昇への懸念を背景に、上値が重い展開となりました。ジャカルタでの感染者数が懸念された数より少なかったことなどから22日の株式市場はデジタルバンク関連銘柄を中心に持ち直しました。その後、政府が新型コロナウイルスの治療薬として「イベルメクチン」を処方薬として認めたことを受けて、製薬会社株などが上昇しました。しかし、24日にはインドネシアの1日あたりの新規感染者が2万人を超えるなど過去最多となり上値が重い展開となりました。インドネシア株式市場は前週末比で小幅に上昇しました。

2021/6/18	2021/6/25	変化率
6,007.12	6,022.40	+0.25%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2021年6月25日)

(%)



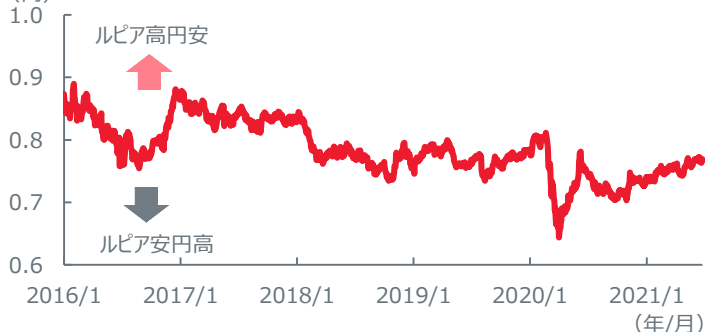
【債券市場】

週初は22日の国債入札を前にして様子見姿勢が強まり、債券利回りは上昇（価格は下落）しました。22日に行われた国債入札では、中期債を中心に堅調な応札が見られ好調となりました。発行額は政府の当初目標と同額となりました。米連邦公開市場委員会（FOMC）後、流出が続いていた外国人投資家からの資金もやや流入に転じました。新型コロナウイルスの深刻な感染状況を受けて、通貨ルピアが弱含みとなる中でも、債券利回りは週末にかけて低下しました。インドネシア10年国債利回りは前週末比で小幅に上昇しました。

2021/6/18	2021/6/25	変化幅
6.535	6.541	+0.006

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2021年6月25日)

(円)



【為替市場】

インドネシアの新型コロナウイルスの1日あたり新規感染者が、初めて2万人を超えるなど新規感染者が急増したことをを受けて、ルピアは弱含みとなりました。債券市場に外国人投資家からの資金流入が見られましたが、感染者の急増により投資家のリスク回避姿勢が強まりルピアは上値の重い展開が続きました。ルピアは対米ドルでは前週末比で下落しました。一方、リスクオンの円売りが加速し円安が進んだため、対円では前週末比で上昇しました。

2021/6/18	2021/6/25	変化率
0.7641	0.7679	+0.50%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャル・グループ